

# 教育出版『中学書写』評価規準（案）

【全編】

（評価規準：【A】十分満足できる，【B】おおむね満足できる）

時間	単元名	ページ	教材名	学習目標	関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
適時		114 5 119	書式の教室	○文字のもつ伝達性を考え、用具、書体を選択して適切に書き表すことができる。	【B】目的に応じてさまざまな書式を効果的に生かそうと興味・関心をもって取り組んでいる。 【A】目的に応じてさまざまな書式を効果的に生かそうと興味・関心をもって、意欲的に取り組んでいる。	【B】目的に応じた形式や用具を効果的に生かそうと考えている。 【A】目的に応じた形式や用具を効果的に生かそうと考え、日常書写との関連を意識している。	【B】目的に応じた形式や用具を効果的に生かそうと考え、日常書写との関連を意識して書いている。 【A】目的に応じた形式や用具を効果的に生かそうと考え、日常書写との関連を意識して、字形を整えて書いている。	【B】目的に応じた形式や用具を効果的に生かそうと考え、日常書写との関連を意識して書くことを理解している。 【A】目的に応じた形式や用具を効果的に生かそうと考え、日常書写との関連を意識して、字形を整えて書くことを把握している。
適時		120 ・ 121	補充教材集2 「実現」「古典に学ぶ」 「自然」「銀河」 「有終完美」 「輝く未来」「よい言葉の一つは多くの本の一冊に勝る」	○好きな言葉を選び、自分の目標を設定し、課題を意識して書くことができる。	【B】自己の課題をもって取り組んでいる。 【A】自己の課題解決に向けて、積極的に取り組んでいる。	【B】各書体の書き方を確認している。 【A】各書体の書き方を的確に判断している。	【B】各書体の筆使いや字形を理解して書いている。 【A】各書体の筆使いや字形を理解して、配列を整えて書いている。	【B】各書体の筆使いや字形、文字の大きさなどを理解している。 【A】各書体の筆使いや字形、文字の大きさなどをよく理解している。
適時		122	詩「道程」高村光太郎	○三年間で学習した漢字と仮名の調和を振り返り、配列を整えて書くことができる。	【B】漢字と仮名の調和の学習を振り返り、意欲的に取り組んでいる。 【A】漢字と仮名の調和の学習を振り返り、課題意識をもって、意欲的に取り組んでいる。	【B】漢字と仮名の調和のさせ方や行の中心、字間・行間を考えている。 【A】漢字と仮名の調和のさせ方や行の中心、字間・行間などを的確に判断している。	【B】漢字と仮名の調和を理解して行書で書いている。 【A】漢字と仮名の調和を理解して、字形や行の中心などを整えて行書で書いている。	【B】漢字と仮名の調和のさせ方を理解している。 【A】漢字と仮名の調和のさせ方をよく理解し、字形を整えて行書で書くことを把握している。
適時		123 5 127	小学校で学習した漢字一覧表（行書）	○行書一覧表を有効的に活用し、他字への応用を図ることができる。 ○共通する点画や似通った部分で分類した行書を、日常生活に活用することができる。	【B】行書を正しく書こうと意識している。 【A】行書を正しく書き、日常生活に生かすことを意識して意欲的に取り組んでいる。	【B】漢字の共通する点画や似通った部分の行書体を確認している。 【A】漢字の共通する点画や似通った部分を分類した表から、他の漢字についても構成を考えている。	【B】漢字の共通する点画や似通った部分を行書で確実に書いている。 【A】他の漢字についても、行書での書き方を、表を使って調べ、正しく書いている。	【B】行書の特徴を理解し、共通する点画や似通った部分で分類した表の使い方を理解している。 【A】共通する点画や似通った部分で分類した行書を、日常生活に応用しようとしている。
適時		128 5 132	中学校で学習する漢字一覧表（行書）	○行書一覧表を有効的に活用し、他字への応用を図ることができる。 ○共通する点画や似通った部分で分類した行書を、日常生活に応用して使用することができる。	【B】行書を正しく書こうと意識している。 【A】行書を正しく書き、日常生活に生かすことを意識して意欲的に取り組んでいる。	【B】漢字の共通する点画や似通った部分の行書体を確認している。 【A】漢字の共通する点画や似通った部分を分類した表から、他の漢字についても構成を考えている。	【B】漢字の共通する点画や似通った部分を行書で確実に書いている。 【A】必要な漢字の行書体について、表を使って調べ、正しく書いている。	【B】行書の特徴を理解し、共通する点画や似通った部分で分類した表の使い方を理解している。 【A】共通する点画や似通った部分で分類した行書を、日常生活に応用しようとしている。
適時		②	芸術としての書道	○書かれた文字の読みやすさと異なる美しさが、平安時代に見いだされたことを理解することができる。	【B】能書が「料紙」に和歌を美しく書くことで後世に伝来したことを知ろうとしている。 【A】書かれた文字の読みやすさとは異なる美しさが平安時代に見いだされたことを知ろうとしている。	【B】能書が「料紙」に和歌を美しく書くことで後世に伝来したことについて考えている。 【A】書かれた文字の読みやすさとは異なる美しさが平安時代に見いだされたことについて考えている。		【B】能書が「料紙」に和歌を美しく書くことで後世に伝来したことを理解している。 【A】書かれた文字の読みやすさとは異なる美しさが平安時代に見いだされたことを理解している。